

情報ステーション 第16期・2019年度 事業計画（案）

0. 概要と組織

「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を広げてまいります。

今期は、図書館の新規開設に力を入れて一つでも多く増やすことを目指します。

0-1-0. 理事会

理事会は、事業計画及び予算の策定とその予実管理、計画達成に向けた戦略決定、総会・活動報告会と忘年会などの交流会を担当します。

今期は、新任理事のフォローの為にチューター制を引き続き実施するほか、部門ごとの自律した運営を目指し、月例の理事会においては各担当理事が自部門の進捗について報告できる体制を目指します。また、理事会の開催にあたっては引き続き公開しオープンな運営に取り組むほか、議事録についても公開できるようにしていきます。

- 理事会の議事録を公開できるようにします。
- 新任理事のチューター制を継続して行います。
- 部門ごとに担当理事が理事会で報告できる体制を目指します。

0-2-0. 経営評議会

経営評議会は理事及び監事経験者を中心として組織し、年4回の会議にて中長期にわたる情報ステーションの事業発展を確認すると共に、理事及び事務局の活動を支援し、NPOのステークホルダーである地域社会を構成する多様な方々に対して、活動への参加・参画を促します。

特に16期においては、定款や規約などの整備と、理事候補者の発掘を重点事項とします。

- 経営評議会設置に関する規定を整備します。
- 情報ステーションの中長期ビジョンについて議論します。
- 5名の理事候補者を理事会に推薦します。

0-3-0. 財務

財務部門では、継続的かつ安定的に活動を実施するために、経費の削減に取り組みながら適正な経理事務を行います。寄付・会費収入と事業収入のバランスを保つと共に、理念や事業計画に合致する助成金があった際には応募を検討します。

今期は、民間図書館等の定期的な売り上げや会費について、自動振替の登録を進めるほか、寄付キャンペーンにて情報ステーションへの支援を呼びかけます。

- 自動振替の利用率を増やします。
- 寄付キャンペーンを行い支援者を増やします。

0-4-0. 会員

会員部門では、情報ステーションの理念や活動に賛同し、会員として参画してくれる方を増やします。

今期は、正会員および法人会員の増強に取り組み、会費収入が法人の運営基盤となるように努めていきます。また、定期的な郵送など情報ステーションからの各種案内を見直し、活動への参加を促したり事業の進捗や活動理念の共有に努める事で、会員の参画意識の向上につなげていきます。

- ・正会員100名、法人会員10社の体制を目指します。
- ・定期郵送の内容を見直し、情報ステーションの活動への参加を促します。

0-5-0. 事務局

事務局では、理事会の決定に基づき日々の運営をします。

今期は毎月郵送を続けながら郵送の質の向上を目指します。

0-6-0. 広報

広報部門では、コーポレートサイトの運営や取材への対応などと共に、各イベントについて情報サイトで告知をし、情報ステーションの活動を広く伝えます。

今年度は団体の理念や活動を伝えるための案内を作成し、会員増強や各種事業の活動で活用し、団体の発展に役立てます。

- ・情報ステーションのパンフレットを作成します。

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方々のつながりを増やし、また新規開設や受付・配架などのボランティアに関わってくれる方々の更なる活動への参加促進を目指します。

その為に、図書館数をはじめ、ボランティア、本の寄贈者、利用者、代理店などを全体的に増やしていきます。

1-1-0. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する直営館のマネジメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設や図書館利用会員証の管理を担当します。

1-1-1. 新規図書館開設グループ

代理店制度を活用し、積極的にPRや営業活動を行うことで、新規図書館を増やします。

- ・年に延べ20館開館を目指します。
- ・イベント・交流会等の機会があれば積極的に活用し、広報・周知に努めます。
- ・空きスペースを活用した図書館モデルを作ります。
- ・新規図書館開館に資する民間図書館設置メリットを明確化します。

1-1-2. 協働図書館管理グループ

協働図書館管理グループでは、定期的な蔵書の入替や本棚の整理、SNS などでの広報を主に、図書館が多くの方に利用していただける様に提携企業等と協働して民間図書館の管理運営を行います。

- ・体制の強化にむけてボランティア DAY を実施します。
- ・情報発信内容の充実をはかります。
- ・既存協働館の利用満足度調査を実施します。
- ・小規模館の収益向上手段多様化を検討します。

1-1-3. 直営図書館運営グループ

直営図書館運営グループでは、民間図書館の運営モデルとなり、蔵書流通における地域の中核館である、ふなばし駅前図書館(休館中)・船橋北口みらい図書館・袖ヶ浦団地まいぷれ図書館・ちばぎんざ図書館(2019/12 閉館予定)・船橋本町通り街づくり図書館の5館の運営を行います。

第16期においては各館ごとの運営目標を実現するとともに、民間図書館の新たな価値を発掘し地域社会における役割を広げていきたいと思っております。また、全体的な収支の改善に取り組みます。

- ・ふなばし駅前図書館では、公民連携モデルである返却ポスト管理を継続し、再開を検討します。
- ・船橋北口みらい図書館では、時間利用を増やし収支を改善すると共に、窓口ボランティアの増員に取り組みます。
- ・ちばぎんざ図書館では時間利用を増やし収支改善に取り組むと共に、独立運営の可能性を検討します。

1-2-0. 蔵書管理部

民間図書館蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など、蔵書流通の全てを担当します。本の流通サイクルを常に動かせるようにします。

現行のボランティア DAY 開催回数を維持するとともに、より多くのボランティアの参加を促します。寄贈本増加による支援者拡大に取り組み、みんなで作る図書館を体現します。

- ・年間新規蔵書登録冊数 2 万冊を目指します。
- ・システム改修による寄贈本仕分けを円滑化します。

1-3-0. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当します。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用管理システムとセルフ貸出システムを軸に、今年度も利便性向上を進めます。また、現システムの老朽化(2008年頃から稼働)も進んでいることから、引き続きリニューアルに向けた検討を進めます。

- ・システムリニューアルに向けた検討をします。

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

情報システム部図書館生活部門では「図書館をもっとたのしく便利に」のキャッチコピーを実現するため、蔵書検索及び民間図書館の基本情報を提供するほか、facebookなどと連携し図書館の情報発信に努めます。

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業は、多世代交流の創出の機会を提供し、地域の文化・経済に資する地域のおまつりやイベントなどのサポートをする事で、情報ステーションのまちづくり理念の実現を目指します。

本部門では、サポートするイベントの各種広報や運営を支援するほか、ボランティアによる開催当日の運営などを担当します。

16期は、ボランティアDAY開催のノウハウを活かし、サポートする各種団体の体制強化につながるような取り組みを検証していきます。

3. ソーシャルファイナンス事業

ソーシャルファイナンス事業部は地域経済の循環促進を目的とします。

今期は地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行います。

- ・ 年間プロジェクト達成金額 500 万円を目指します。

4. その他の事業

その他の事業では、民間図書館・イベントサポート・ソーシャルファイナンス以外の情報ステーションの理念を達成するために必要な事業について実施すると共に、活動理念の普及啓発に取組みます。

4-1-0. 情報紙編集部「季刊 情報ステーション」

情報誌編集部では、フリーペーパーを季刊で発行し、民間図書館のほか千葉県内公立図書館や社会教育施設、書店等での配布を行い、一人でも多くの方に情報ステーションの事業や様々なまちづくりの活動を知ってもらうことで、地域社会における多世代交流の重要性とまちづくりへの主体的な参加を促します。

また、今期4回の発行の中で、協賛広告やクラウドファンディング、サポーター会費による収入を増やし、継続的に発行を続けられる体制を目指します。

- ・ 年に4回「季刊 情報ステーション」を発行し、2万部を配布します。
- ・ サポーターを募集し、100名の登録を目指します。